

令和7年度以降の取り組み

県営峰岸団地建替工事
令和14年度完成予定

■防災施設整備

- 県営峰岸団地建替事業による防災広場
かまどベンチ、防災バーゴラなどの整備を県に要望
※峰岸団地自治会・峰岸上自治会と協力
- 峰岸ふれあい公園
マンホールトイレ・かまどベンチなどの整備を市に要望
※峰岸上自治会と協力

■防災倉庫の確保

- 建替後の「新・峰岸集会所」内に防災倉庫を確保
峰岸団地・峰岸上自治会と協力し県に要望
※まちづくり推進条例に基づき意見書提出(R3.12.28)、再意見書提出(R4.2.21)



地域資源の活用

民間事業所との協力体制づくり

<災害協力協定締結>

■(株)丹野設備工業所 令和2年2月～

- 「災害時協力井戸」から生活用水をくみ上げ、タンク車に貯水 → 給水車で自治会内へ給水
- 緊急一時避難場所の投光器・発電機の提供

■そんぽの家伊勢原 令和2年11月～

- AED使用の合意

■(株)太陽建機レンタル 令和4年6月～

- 大型発電機のレンタル 【災害時協力井戸(深さ48m)から生活用水を取水】

今後、ほかの事業所とも協力体制を進めていきます。

防災協力事業所との協力体制

■平常時の協力

- ①防災訓練への参加(給水班2名)
- ②地域の防災研修会への参加
(能登半島地震の被災地 輪島市での活動報告)
- ③施設の提供(事務所の一部を防災訓練本部として借用)

■災害時の協力

- ①労務の提供(給水活動時の人員+車両)
- ②物資の提供(生活用水)
- ③資機材等の貸し出し(発電機、給水タンク、車両、投光器)



災害時協力井戸から生活用水をくみ上げ、
給水タンクに補給→各世帯に提供

防災ブロック図

小山公園避難ブロック図

20戸～30戸の単位で
形成したブロックです。

- ・複数の組長が中心
- ・要支援者・被災者を救出
- ・峰岸ふれあい公園または小山公園までの避難誘導

● 災害時協力井戸(5か所)

